



西中だより

令和6年3月11日

第6号

秦野市立西中学校

秦野市柳町 2-5-1 TEL88-0022

心に残る卒業式を

令和5年度第77回卒業式が明日3月12日(火)に行われます。昨年度までの数年間は、新型コロナウイルスの影響を受け、さまざま制限せざるを得ない形での実施となりましたが、今年度は、従前に戻しての卒業式を挙行いたします。

1年間を通じて、市内で新型コロナウイルス感染症や季節性インフルエンザ等の感染症が流行により、学級閉鎖の措置を講じる小中学校がある中、本校につきましては、おかげさまで閉鎖もなく、無事1年間を終えることができそうです。これもひとえに、子どもたちがそれぞれ感染に注意するとともに、ご家庭でも健康管理等でご尽力いただいた成果であると深く感謝申し上げます。

今年度は、新型コロナウイルスの5類への移行を受け、西翔祭や合唱祭をはじめとする数々の活動を、4年ぶりに従来の形に戻して実施することができました。手探りで活動を再開していく中、その中心には常に3年生の頼もしい存在がありました。日常の取組でも、ピアサポート活動の推進や、生徒会、部活動などで活躍してくれました。明日は、その輝かしい思い出を胸に、心に残る卒業式を創りあげ、西中学校から巣立ってほしいと願っています。

3年生の保護者の皆さまにおかれましては、様々な場面でご支援、ご協力をいただきましたことに、深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

PTA年度末総会

「1年間ありがとうございました」

2月20日(火)、書面で開催された今年度の年度末総会では、令和5年度の事業報告、決算報告、特別会計報告、新役員等の議案に加え、PTA規約改正について、PTA役員・委員の免除及び優遇措置について承認されました。今年度は、西翔ふれあいフェスタをはじめ、様々なPTA活動が再開され、本当に大忙しの1年となりましたが、吉藤会長をはじめ、PTA役員の皆さま、1年間ありがとうございました。新役員には、会長・〇〇〇〇さん、副会長・〇〇〇〇さん、副会長・〇〇〇〇さん、書記・〇〇〇〇さん、会計・〇〇〇〇さん、情報委員・〇〇〇〇さんが承認されました。どうぞよろしくお願ひいたします。併せて、今年度のPTA活動にご協力ありがとうございました。

アンケートへのご協力ありがとうございました

2月5日(月)～16日(金)に実施しました「教育活動アンケート」へのご協力ありがとうございました。グループフォームに83名の保護者からご回答いただきました。全体的な傾向としては昨年度とほぼ同様の結果が出ており、『お子さんは、思いやりの気持ちで友達と協力して行動しているようだ』(質問2)について、「あてはまる」「ややあてはまる」の割合が高い数値(90%以上)を示しており、ここ数年コロナ禍で活動が制限される場面もありましたが、本校が推進している「ピアサポート活動」が定着している結果だと思われます。一方、『学校生活の中で、生徒を活かせる場所や機会がある』(質問13)、『学校は一人ひとりの生徒に応じた適切な指導をしている』(質問15)については、学校として更にきめ細やかな対応が必要であると考えます。自由記述欄ではスマホの取扱いについてご意見、部活動のあり方や子ども同士の人間関係について等のご意見をいただきました。この結果を踏まえ、さらに一人ひとりに応じた指導を心がけてまいります。

また、同様に生徒向けのアンケートを実施しました。『自分には良いところがあると思う』(質問1)については、4分の1の生徒が「あまりあてはまらない」「あてはまらない」と回答しており、今後も自己肯定感を育む取組が必要と考えます。

友人関係については、多くの生徒は『思いやりの気持ちを持って友だちと協力して行動することができた』(質問5)と回答しており、保護者アンケートの結果と同様の傾向を示しています。一方、『学校へ行くのが楽しい』(質問3)については、21%の生徒が「あまりあてはまらない」「あてはまらない」と回答しており、誰もが楽しく、安心して通うことができる学校づくりが引き続き重要であると言えます。

自由記述では、制服やジャージ等の服装に関することや部活動に関する、校舎や学校環境について等の意見がありました。

保護者の皆さま、生徒の皆さん、貴重なご意見をありがとうございました。

(アンケート結果は裏面に掲載しています)

卒業生による講演会が開催されました

2月29日（木）、3年生の卒業期特別プログラムの時間を使い、西中卒業生で秦野ふるさと大使でもある落語家『春風亭一左氏』をお招きした講演会を開催しました。題して《ようこそ先輩☆～卒業する君たちへ『笑う門には福来る』～》。当日は3年生のほかに、保護者や地域の方にもご来場いただき、ステージ上の特設高座で1時間たっぷりお話しいただきました。扇子や手ぬぐいの使い方、そばのすすり方に始まり、小唄から古典落語「てんしき」「時そば」と落語の持つ醍醐味をご披露いただきました。そして、落語のあとには、生徒からの「西中での思い出は？」や「いくつぐらいの落語を覚えていますか？」など沢山の質問に丁寧に答えていただき、さらには「どうやってそばをすする音を出すのですか？」の質問にも「企業秘密」と笑いながらも、快く答えていただきました。最後は、西中卒業の先輩として、また人生の先輩として、巣立ちを控えた3年生に、温かくも力のこもったエールを贈っていただきました。



4年ぶりの『炊き出し訓練』

最高気温が20℃を超える季節外れのぼかぼか陽気の2月20日、これも3年生の卒業期特別プログラムの中で、4年ぶりに『炊き出し訓練』が行われました。当日は、3年生を2グループに分け、1グループが地域清掃に出かけている間、もう一方のグループがかまどでの「飯炊き」、そしてロケットストーブでの「豚汁づくり」に挑戦しました。特に、慣れないロケットストーブで強い火力にするのに手間取り、お湯がなかなか沸かなかったため、下校時刻を大幅に繰り下げ、延長しての実施となりました。ご家庭には大変ご心配をおかけしてしまい申

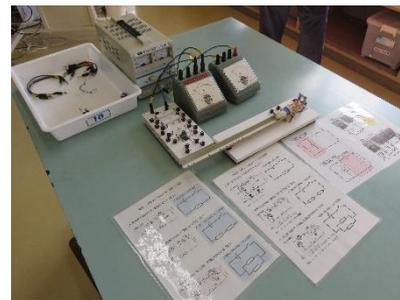


し訳ございませんでした。元日に発生した能登半島地震による被災地の状況は決して他人事ではなく、今回再開した炊き出し訓練の結果を

しっかり検証し、「防災拠点としての西中学校」の役割を果たすための『備え』が重要であると改めて確認することができました。ご協力いただいたボランティアの皆さま、ありがとうございました。

めざせ理科名人！西中CS「理科授業支援」

日立OBの方々を中心としたボランティア団体『ハイエンス神奈川』の皆さまにご協力いただき、2年生全クラスを対象とした理科授業支援を実施しています。1回目は1月24日（水）に『電流の性質』について、2回目は2月15日（木）に『静電気の性質』



について、自作の実験装置を駆使した授業を展開していただきました。特に静電気の授業では、帯電させた静電気に蛍光灯を近づけ、ほんの

り光ったときの『おおー』というどよめきや、つないだクラスメイトの手を静電気が伝ったときの、もはや

悲鳴にも近い反応がとても印象的でした。このように、本来、学問というものは、視覚や聴覚だけでなく、触れたり、感じたり、自分で動かしたりと、あらゆる



感覚を通して、自分の中に定着するものなのではないでしょうか。ふと、そんなことを感じさせてくれる授業を展開してくださった『ハイエンス神奈川』の皆さまには、深く感謝いたします。

なお、第3回（最終回）は、3月14日（木）に『2極モーター』についての授業を実施予定です。



